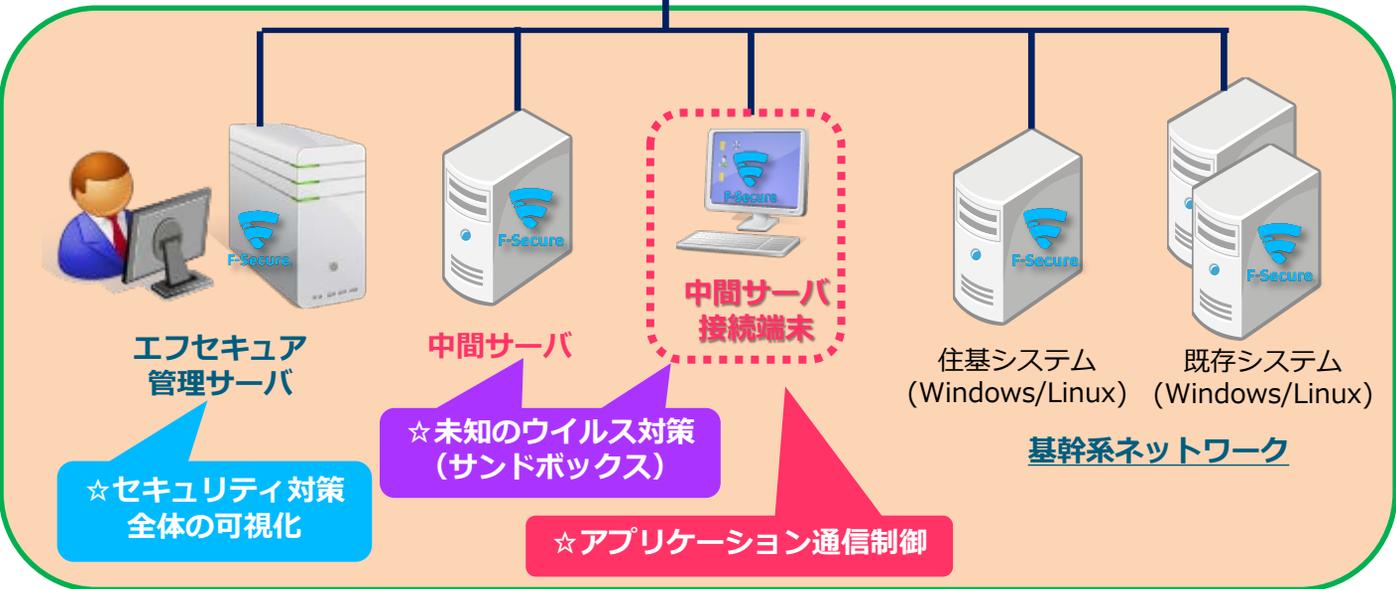


エフセキュア マイナンバー対応ソリューション ～エフセキュア 公共ライセンスプレミアム～

「エンドポイント対策でここまで出来ます!!」



2016年1月から運用開始されるマイナンバー制度において、地方公共団体様は、マイナンバー制度の特定個人情報情報を格納する「中間サーバ」へのネットワーク接続、地方公共団体様内に複数あるネットワークの統合、特定個人情報へのアクセス管理など、様々なITインフラの対応が必要となります。
エフセキュア公共ライセンスプレミアムをご導入いただくことで、マイナンバー制度で必要となるネットワークセキュリティの対策を総合的に実施することができます。



マイナンバー対応のセキュリティ対策ポイント

最も重要な課題は、特定個人情報の漏えい防止!

最も有効な対策は

- ◆ 中間サーバ、中間サーバ接続端末の全てに、**特定個人情報を安全に利用するための強固なセキュリティ対策**が必要
- ◆ 既知のウイルスだけでなく、**未知のウイルスによる特定個人情報の漏えい防止**
- ◆ **アプリケーション通信を管理**することで、必要な通信のみを接続し、**怪しい振る舞いの通信を遮断する**
- ◆ 既知のウイルス、未知のウイルス、怪しい振る舞いの通信に加え、**ソフトウェアの脆弱性対策も可視化**し、セキュリティ対策全体を**安全かつ効率的に運用管理する**

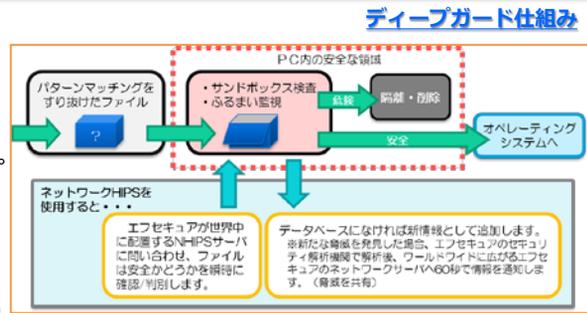
上記ポイントに対し、エフセキュア公共ライセンスプレミアムにてサンドボックス、アプリケーション通信制御、パッチマネジメントのエフセキュア社のテクノロジーにてソリューションをご提供!!



ポイント 1 サンドボックス(ディープガード)で未知のウイルス対策

エフセキュア最新テクノロジー ディープガードを構成する機能 **サンドボックス**を利用することで未知のウイルス対策!!

- ◆ エフセキュア ディープガードは、怪しいプログラム(未知のウイルスの可能性が高いもの)を安全な領域(サンドボックス)に隔離し、その挙動を観察(ふるまい監視)して、感染を防ぐ最新のテクノロジーです。ディープガードでは、NHIPS(ネットワーク機能を有するホスト型IPS)として動作し、判断に要する時間の短縮と情報の共有化(レピュテーションネットワーク)を実現しています。
- ◆ サンドボックス(ディープガード)はウイルス対策機能に標準搭載された端末側で動作するテクノロジーで、**ネットワークアプライアンス型サンドボックスでは対応出来ない対策が可能です。**



ポイント 2 アプリケーション通信制御による出口対策と可視化

ネットワーク通信を精査し、不正なリクエストを検知、遮断する技術 **アプリケーション通信制御**により、脆弱性が利用され、危険にさらされることを未然に防止します。

- ◆ 業務に必要なアプリケーション以外の通信をブロックしてしまうことで内部感染拡大や情報流出といった二次被害対策に有効です。
- ◆ 不正な通信を行う可能性がある場合、ユーザにその通信を警告し、常にセキュリティ危険にさらされる状況を回避します。
- ◆ アプリケーション通信制御はウイルス対策機能に標準搭載された端末側で動作するテクノロジーで、**ネットワークアプライアンス型IPSでは対応出来ない対策が可能です。**



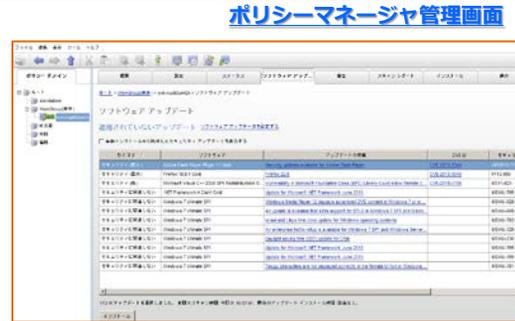
(例)インターネットエクスプローラの通信のみを許可している設定

ポイント 3 ソフトウェアアップデート(修正パッチマネジメント)による脆弱性対策

OSの脆弱性だけでなく、その上で稼動するアプリケーションもマルウェアに悪用されます。常にOSとサードパーティアプリケーションの修正パッチ適用状況の可視化することで脆弱性対策を行えます。

- ◆ 日々リリースされる**OSやサードパーティアプリケーションの修正パッチ適用状況を可視化**し、必要に応じて*適用させることで最新の状況に保ちます。
- ◆ 特定端末やドメイン単位でセキュリティポリシーを設定し、一斉に配信することができます。企業のコンプライアンス強化のためのコーポレートセキュリティポリシー運用監視を実現します。

*修正パッチの適用にはインターネットへの接続環境が必要となります。



クライアント端末の修正パッチ適用状況を一覧で表示可能

公共ライセンス プレミアム 構成製品

- エフセキュア クライアントセキュリティ プレミアム
- エフセキュア アンチウイルス ワークステーション
- エフセキュア Windows サーバセキュリティ プレミアム
- エフセキュア Microsoft Exchange & XenAppセキュリティ プレミアム
- エフセキュア アンチウイルス Linux ゲートウェイ
- エフセキュア Linux セキュリティ フルエディション
- エフセキュア Linux セキュリティ コマンドラインエディション

対応OS

- Linux:
 - RHEL 5 | 6 | 7 ■ CentOS 5 | 6 | 7 ■ SuSE 11
 - Debian 6 | 7 ■ Ubuntu 10.04 | 12.04
- Windows:
 - Windows 8/8.1, 7, XP SP3
 - Windows Server 2003 SP3/R2 | 2008/R2 | 2012/R2
 - Microsoft Small Business Server 2003/R2 | 2008 | 2011
 - Microsoft Small Business Server 2011 | 2011 Essential
 - Exchange Server 2003 | 2007 | 2010 | 2013

※最新の対応OS情報は当社Webサイトをご参照ください。



【お問い合わせ先】
ジャパンメディアシステム株式会社 ネットワークコミュニケーション部
 本社: 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10 第2電波ビル2F

TEL: 03-5297-5511 IP電話: 050-3387-5151 Email: nw@jm-s.co.jp URL: <http://www.bias.jp/>

*エフセキュアの社名、ロゴ、製品名はF-Secure Corporationの登録商標です。
 *本文中に記載された会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。